

2024年度看護職連携強化交流会開催要項

1 目的

県民が、住み慣れた地域で安心してその人らしく暮らせるよう支援するためには、病院、施設、行政など幅広い分野で働く看護職が相互に連携し、生活モデルの中で看護を提供することが必要となる。

特に2040年は、生産年齢人口のさらなる減少と85歳以上の高齢者の増加が進むと言われており、先例のない社会状況となることが見込まれている。どのような状況になっても、看護は、人々の最も身近にいる専門職として、そのポテンシャルを最大限に発揮し、健康を支えていくことが重要である。

そこで、入院・外来・地域のそれぞれの立場の看護職が、適切な時期に必要な情報を交換し、相互に連携を深めながら、医療と生活の両方の視点を持ち、包括的に支援を行うことができるよう、看護職間の連携強化を図ることを目的に開催する。

2 日時 2024年12月7日(土) 13時00分～16時00分 (12:30～受付)

3 場所 大分県看護研修会館 3階 大研修室 (ハイブリッド開催)

4 主催 大分県看護協会 職能委員会

5 参加料 無料

6 内容

時間	内容
13:00～	開会挨拶 (大分県看護協会 会長 大戸 朋子)
13:05 ~ 14:25	○シンポジウム・意見交換 テーマ「県民が安心して暮らせるための、多様な場面での看護連携の強化 ～今だからこそ、看護職間の相互理解を深める～」 シンポジスト 保健師職能:「医療的ケア児の在宅療養生活を支える看護連携 ～NICU入院中からの災害時の準備、避難の実際～」 大分県中部保健所地域保健課 課長補佐 坪根亀代子氏 助産師職能:「周産期センターにおける看護連携」 大分県立病院 主任 松井康代氏 看護師職能Ⅰ:「当院における入退院支援の現状」 新別府病院 看護師長 宮本弥生氏 看護師職能Ⅱ:「看護ネットワークからつながる認知症の方にやさしい まちづくり」由布市地域包括支援センター長 高田文子氏
14:25 ~ 15:55	○特別講演 (*オンラインによる講演) 演 題「看護職の地域包括ケアシステムへの積極的参画 ～垣根を超えた連携力と協働力。そして、統合力～」 講師 活水女子大学看護学部 教授 開田ひとみ氏
16:00	閉会挨拶 (大分県看護協会 職能委員長)

7 問い合わせ先 大分県看護協会 事業部 TEL 097-574-7117 FAX 097-545-3751

Mail:jigyou@oita-kango.com